

県民の信用を失うことになる

# 1社独占入札の謎

怒りの  
投書

## 業者間談合恒常化



氾濫した勝山市暮見川

昨年8月4日、勝山市は極めて短時間に前触れもなく、想定をはるかに超える豪雨に襲われた。暮見川など3河川があふれ、市内各地で道路が冠水。皿川があふれた荒土地区は住宅が床上浸水。暮見川流域の村岡地区では護岸の一部が損壊。山側では土砂崩れ

### 公共工事入札の表と裏

も起き、勝山、大野両市で国道と県道計12カ所が通行止めとなった。

福井県や勝山市は被害を受けた多くの河川や道路の復旧工事を建設業者に発注した。この災害復旧工事の落札状況に『業者間の談合疑惑』があると投書が寄せられた。

奥越土木事務所発注の昨年11月から今年2月までに行われた3千万円以上の復旧工事の落札額を別表に記載した。工事件数25件、金額の合計は11億9635万円に上る。

この25件すべてが1社単独入札であり、設計額に対してほぼ99%以上の価格で落札される異常事態は軽視できない。仮に、25件の工事を平均95%の価格で落札すると、その差4%の4785万円は税の無駄遣いである。余剰金を

出生率向上や子育て支援にも回せる金額だ。

たとえ緊急を要する災害復旧工事であっても、各業者が競争して適正な入札が行われ価格を決めなければ入札の意味がない。ましてや国や地方自治体が公共の利益や福祉のために行う公共事業だ。血税の無駄使いは許されない。

福井県競争入札参加資格者名簿によると、奥越土木事務所管内の勝山市A級業者は、グリーン開発(株)、(株)島田組、(株)タイセー、大北久保建設(株)、(株)坪内建設、西出建設(株)、(株)豊栄建設、横井建設(株)、(有)北八建設の9社である。

25件の落札業者は、勝山市A級業者の大北久保建設(株)、(株)タイセー、(株)豊栄建設、(株)坪内建設、横井建設(株)、(株)西出建設、(株)大善建設、グリー